

定秀文子

（広島大学病院 眼科 診療講師）



家族の協力と 共に過ごす時間を支えに、 臨床と教育に全力で取り組む

My Work

私は網膜グループのチーフとして手術の振り分け、難症例の執刀、後輩の指導、研究活動の推進を主に担っています。網膜グループの手術は非常に多く、緊急手術も頻繁に発生します。3～4時間かかる手術もあり、全ての手術を自分で抱えるのは難しいため、限られた時間とマンパワーを最大限に生かすため、症例の難易度を見極め、後輩医師にお願いできる手術は積極的に任せるようにしています。手術日には夜遅くまで手術室に残る日も多々あります

が、それでも、手術後に患者さんから「見えるようになった」と言われる瞬間には大きなやりがいを感じます。また、若い先生たちの臨床面、発表や研究でのサポートも行い、彼らの成長を見守ることも私の重要な役割です。

My Life & Balance

家庭と仕事のバランスを取することは常に挑戦ですが、夫と協力して家事や子どもの学校行事を分担しています。特に、家に帰ってからの限られた時間を大切に、子どもたちの成長を感じる瞬間を逃さないように

心がけています。保育園の子どもが自転車に乗れるようになったり、中学生の子どもが家のお手伝いを当たり前のようにできるようになったりする姿を見ると、忙しい日々のなかでも心が温かくなります。夏休みには家族旅行を計画し、最近では長男の水球の試合を見に家族で県外に泊まりに行くなど、家族との時間を大切にしています。

このように、仕事と家庭の両立を図りながらも、どちらにも全力で取り組むことで充実した毎日を送っています。

